

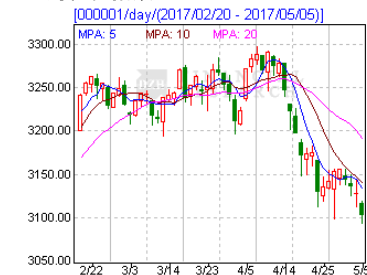


【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

※週間騰落率は過去5営業日の騰落率

	直近値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	16年末株価
NYダウ	21,006.94	55.47	0.26	0.32	6.30	19,762.60
NASDAQ	6,100.76	25.42	0.42	0.88	13.33	5,383.12
日経225	19,445.70	135.18	0.70	1.92	1.73	19,114.37
上海総合	3,103.04	-24.33	-0.78	-1.56	-0.02	3,103.64
滬深300 (CSI300)	3,382.55	-21.84	-0.64	-1.86	2.19	3,310.08
ハンセン	24,476.35	-207.53	-0.84	-0.42	11.25	22,000.56
H株	9,926.26	-161.76	-1.60	-3.79	5.66	9,394.87

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.6%安と反落、上海総合指数は1.6%安と4週続落

香港市場はメーデーと仏誕節の休場を挟み3日間の取引。ハンセン指数は3日間で0.6%安と反落した。連休谷間の2日は小反発したものの、4-5日は続落し、4月25日以来の安値で週の取引を終了した。国際商品市況の下落や中国の金融引き締め動きに加え、7日の仏大統領選の決選投票を控えて投資家の慎重姿勢が強まった。一方、本土市場では上海総合指数が4日間で1.6%安と4週続落。景気の先行き不安や金融引き締め動きを嫌気し、週末まで4日続落。週を通じて軟調な展開が続いた。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、仏大統領選の結果受けて安心感

香港市場は堅調な展開か。NY市場でS&P500やNASDAQ総合が過去最高値を更新するなか、懸念材料だった仏大統領選の決選投票で中道系マクロン氏の勝利が決まり、安心感が広がりそうだ。ただ、今週は中国の物価統計の発表が予定されているほか、来週には固定資産投資や鉱工業生産など主要統計の発表も控えており、週末にかけて様子見姿勢が強まることも予想される。一方、本土市場は金融引き締め動きが引き続き重しとなりそうので、弱含みの展開が見込まれる。ただ、下値では買い戻しも予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼値上がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 百麗国際(01880)	6.06	14.99
2 AIAグループ(01299)	54.60	6.43
3 HSBC(00005)	66.50	3.74
4 中銀香港(02388)	32.40	2.37
5 電能実業(00006)	70.90	2.09
6 ハンセン銀行(00011)	161.60	1.96
7 長江実業地産(01113)	56.20	1.54
8 テセント(00700)	243.80	0.91
9 ファイナ・モバイル(00941)	84.30	0.78
10 瑞声科技(02018)	107.10	0.47

▼値下がり

	直近終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 華潤置地(01109)	20.05	-9.89
2 銀河娛樂(00027)	40.50	-8.27
3 シノベック(00386)	6.02	-6.38
4 恒隆地産(00101)	19.22	-5.78
5 サンス・ファイナ(01928)	34.80	-5.56
6 交通銀行(03328)	5.78	-5.40
7 吉利汽車(00175)	10.26	-5.18
8 ベトロファイナ(00857)	5.24	-5.07
9 中国海外発展(00688)	21.90	-4.78
10 中国旺旺(00151)	5.33	-4.65

▼今週の主なイベント

- 5月10日(水)
 - 【中国】CPI, PPI(4月)
- 5月12日(金)
 - 【香港】GDP(1-3月期)
 - 【米国】小売売上高(4月)

▼今週の期待材料

- ◆香港の住宅価格変動を示す先行指標のCCLが過去最高値を更新、5日発表の最新値は前週比0.57%上昇
- ◆4月末の外貨準備高は前月比204億米ドル増の3兆295億米ドル、中国からの資金流出懸念後退へ
- ◆香港の3月の小売売上高が前年同月比3.1%増加、2年ぶりにプラス成長を回復

▼今週の懸念材料

- ◆朝鮮半島情勢を巡り中国と北朝鮮の関係が悪化、圧力強める中国に対して北朝鮮が名指しで非難
- ◆中国の金融監督当局が相次いで監視・監督の動きを強化、流動性低下への警戒感くさる公算
- ◆本土市場で今週は約53億株のロックアップが解除、時価総額約749億元に上り需給悪化要因に

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ キングボード・ケミカル (00148) : シンガポール子会社の1-3月期は純利益2.8倍
- ☆ 吉利汽車 (00175) : 4月の新車販売台数が94%増加、新モデルが引き続き好調
- ☆ 中国金茂 (00817) : 4月の不動産販売額が18%増加、販売面積は23%増
- ☆ 交通銀行 (03328) : 子会社の交銀国際控股を香港メインボードに分離上場
- ☆ 遠洋集団 (03377) : 4月の不動産販売額が92%の大幅増、販売面積は48%増
- ◇ 新疆金風科技 (02208) : 豪風力発電事業を1.1億豪ドルで取得、総出力約530MW
- ★ 香港証券取引所 (00388) : 10日に1-3月期決算を発表、市場予想は3%減益
- ★ 中信証券 (06030) : 4月の営業収益が42%減、純利益は52%減と大幅な落ち込み
- ★ 招商証券 (06099) : 4月の営業収益が35%減、純利益は48%の大幅減
- ★ 海通証券 (06837) : 4月の営業収益が1%減、純利益は7%減と苦戦

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。